## **一般的就労困難な方々の就労等受入に関する意向アンケート調査**

下記1～7までの設問にご回答下さい。

設問１　貴社について伺います。

|  |  |
| --- | --- |
| 業種※1（右のA～Sの中から最もあてはまると思われるものを一つお選び下さい。） | A.農業・林業　B.漁業　C.鉱業・採石業・砂利採取業　D.建設業　E.製造業　F.電気・ガス・熱供給・水道業　G.情報通信業　H.運輸業・郵便業　I.卸売・小売業J.金融・保険業　K.不動産業・物品賃貸業　L.学術研究・専門・技術サービス業M.飲食店・宿泊業　N生活関連サービス業・娯楽業　O.教育・学習支援　P.医療・福祉　Q.複合サービス業　R.公務　S.その他 |
| 従業員数合計（　　　　　）人 | 正規職員 | 人 | 派遣・契約等の社員 | 人 |
| パート・アルバイト等 | 人 | その他 | 人 |

※1　総務省　日本標準産業分類（平成25年10月改定）を参考

設問２　貴社では現在、会社又は事業所の業務を担う従業員（スタッフ等）の数は足りていますか。それとも不足していますか。該当するものに○を付けて下さい。

ア．足りています　　　　　→設問４へお進み下さい

イ．不足しています 　　→設問３へお進み下さい

設問３　設問２で「イ．不足しています」を選んだ方は以下の質問にお答え下さい。

* 1. 具体的に、どのような業務内容で、どれだけの人数が不足していますか。

ア．業務内容（より具体的に）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

イ．上記の業務を行うに当り、必要な能力や技術、経験等はありますか。

（例、パソコンの基本操作（ワード、エクセル、メール処理等） 立ち仕事なので体力）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ウ．必要な人数はどれ位でしょうか。

・正規職員（フルタイム）:　　　　人

・非正規職員（パート/アルバイト）: 　　　　人

* 1. 従業員（スタッフ等）をどのような方法で募集していますか。該当するもの全てに○を付けて下さい。
		+ 1. 公共職業安定所（ハローワーク）への掲載
			2. 民間の有料職業紹介所への掲載（求人雑誌や求人サイト、新聞折り込み等）
			3. 自社のホームページ等のWEBサイト、チラシやポスター等
			4. 親類、知人や友人等を通した紹介
			5. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
			6. 募集していない

設問４　現在、貴社では「（過去にニートや引きこもり状態であった）若者」、「（生活保護受給者等の）生活困窮者」、「（精神や発達等の）障害者」等の方々を従業員として雇用していますか。以下、①～③について該当するものに○及び人数をご記入下さい。

　　　**①（過去にニートや引きこもり状態であった）若者**

　　　　ア．雇用している

（正規職員＿＿＿人　派遣・契約等の社員＿＿＿人　パート・アルバイト等＿＿＿人　その他＿＿＿人）

1. 雇用していない

　　　**②（生活保護受給者等の）生活困窮者**

　　　　ア．雇用している

（正規職員＿＿＿人　派遣・契約等の社員＿＿＿人　パート・アルバイト等＿＿＿人　その他＿＿＿人）

1. 雇用していない

**③（精神や発達等の）障害者**

　　　　ア．雇用している

（正規職員＿＿＿人　派遣・契約等の社員＿＿＿人　パート・アルバイト等＿＿＿人　その他＿＿＿人）

イ．雇用していない

設問５　今後、貴社では上記設問①～③に該当するような方を、従業員又は就労体験者（期間限定で無給のインターン）として受入れる意向はありますか。該当するものに○を付けて下さい。また、その理由も併せてご記入ください。（ア～ウを選択した方は設問６へお進みください。）

　　　**①（過去にニートや引きこもり状態であった）若者**

　　　　ア.大いにある　　イ.条件さえ合えばある　　ウ.どちらとも言えない　　エ.あまりない　　オ.全くない

　　　　　理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　**②（生活保護受給者等の）生活困窮者**

　　　　ア.大いにある　　イ.条件さえ合えばある　　ウ.どちらとも言えない　　エ.あまりない　　オ.全くない

　　　　　理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**③（精神や発達等の）障害者**

　　　　ア.大いにある　　イ.条件さえ合えばある　　ウ.どちらとも言えない　　エ.あまりない　　オ.全くない

　　　　　理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

裏面へお進みください

設問６　今後、貴社では上記設問①～③に該当するような方を、従業員又は就労体験者（期間限定で無給のインターン）として受け入れるとした場合に、どのような能力や技能、経験等又は条件が必要だと思いますか。以下から特に重要と思われるものを３つまで選んで○を付けて下さい。

1. 定時に出社できること。（遅刻をしない）
2. 頭髪、服装等の身だしなみをきちんと整えることが出来ること。
3. お客様、取引先、近隣の方にきちんと挨拶が出来ること。
4. 職場の同僚や上司、部下とコミュニケーションが取れ、連携・協力して仕事を進められること。
5. 決められた業務を、決められた時間内に、きちんと遂行できること。
6. 基本的なパソコン操作が出来ること。（ワード・エクセル、メール処理、インターネットでの情報検索等）
7. 事故、怪我、トラブル等が発生した場合に、支援機関、家族が直ちにフォローできる体制であること。
8. 障害者の場合、就労移行支援事業所や障害者就労支援センター等の定着支援に向けたジョブコーチ等の支援を受けていること。
9. これらの方々を雇用することで、何らかの公的な助成や補助制度が使えること。
10. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

設問７　設問１～６を通して、本調査全体に対するご感想や意見、質問等あればご自由にお書きください。

　＜本調査における言葉の定義＞

・「一般就労」：ハローワーク等を通じて、一般企業で雇用契約に基づいて就労すること。

・「ニート」：15～34歳の労働力人口のうち、就職活動、通学、家事を行っていない方で「若年無業者」とも言います。

・「引きこもり」：仕事や学校にゆかず、家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方。

・「生活困窮者」：現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方。本調査では、元ホームレス状態の方や現在、生活保護受給状態である方まで含めます。

・「精神障害者」：統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、精神病質その他の精神疾患を有する方。

・「発達障害者」：発達障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの）有するために日常生活又は社会生活に制限を受ける方。

ご回答ありがとうございました。今後、より詳細なお話を伺っても構わないという方は以下の欄へのご記入も併せてお願い致します。こちらから追ってご連絡差し上げます。また、本調査にご協力して頂いた事業者様には後日、事業全体の報告書を郵送にてお送りさせて頂きます。

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名・団体名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| ご担当者名 |  |
| 電話番号 |  | FAX |  |
| メールアドレス |  |